

令和4年度 市民後見人養成講座のカリキュラム

座学(45時間)

第1ターム：成年後見の基本的な制度・理念・背景に関する学習

1. 日本の高齢社会

- ・高齢社会の理念、あり方

2. 成年後見の制度・法律

- ・成年後見制度概論 ・任意後見制度
- ・法定後見制度 ・市民後見概論

第2ターム：対象者理解や後見関連制度・法律に関する学習

1. 対象者の理解と接し方

- ・高齢者の理解 ・精神・知的障がい
- ・認知症の理解 の理解
- ・対人援助の基礎

2. 成年後見に関連する制度・法律

- ・年金制度 ・民事信託
- ・介護保険制度 ・税務申告
- ・生活保護制度

3. 地域福祉と権利擁護

- ・障がい者の権利、差別解消
- ・地域共生社会

4. 民法の基礎

- ・財産法の基礎 ・家族法の基礎
- (契約・後見人の権限) (相続・遺言)

第3ターム：後見実務や関連機関に関する学習および討論

1. 成年後見の実務と事例

- ・後見人の実務 ・財産管理と身上保
- ・後見活動の事例 護の実務

2. 後見関連機関の役割と実務

- ・家庭裁判所の役割
- ・市町村の取り組み

3. 後見等に関する討論

- ・グループワーク

4. 総括的講義

- ・成年後見の課題 ・理解度確認テストと展望

実習(15時間)

第1～3ターム：演習と課題を通じた実践的学習 (座学に並行して実施)

1. 後見実務演習

後見開始申立書等の作成
(10時間)

2. 選択課題

- ①成年後見制度の普及・啓発活動に関する企画(5時間)
- ②成年後見に係る業務上の課題に関する検討(5時間)
- ③任意後見契約書の作成(5時間)
- ④エンディングノートと遺言書の作成(5時間)
- ⑤自己設定課題(5時間)

※上記5つの課題の中から、実施する課題を任意に選択。

※「⑤自己設定課題」は、自分で課題の内容を独自に決めようえで実施。